

2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社タカトリ 上場取引所 東
 コード番号 6338 URL http://www.takatori-g.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡島 史幸 TEL 0744-24-8580
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	4,354	32.2	270	—	370	—	288	—
2020年9月期第3四半期	3,293	△5.9	△182	—	△155	—	△263	—

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 292百万円 (—%) 2020年9月期第3四半期 △239百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	52.84	—
2020年9月期第3四半期	△48.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	10,240	5,406	52.8
2020年9月期	8,533	5,168	60.6

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 5,406百万円 2020年9月期 5,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年9月期	—	0.00	—		
2021年9月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	17.3	241	—	305	—	242	—	44.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名） - 、除外 - 社（社名） -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	5,491,490株	2020年9月期	5,491,490株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	31,164株	2020年9月期	31,092株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	5,460,364株	2020年9月期3Q	5,460,398株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、巨額の経済対策に加え、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」といいます。）ワクチンの普及により経済活動規制の緩和が進んだことで、景気回復が加速しております。欧州では、新型コロナワクチン接種の急速な進展や感染拡大のピークアウトに伴い、各国での活動制限は段階的に緩和され、景気が急回復しております。中国では、景気回復の動きを維持しているものの、欧米向けの輸出の停滞やサービス分野の回復が依然として緩慢であり、景気回復の勢いは鈍化しております。また今後の米中対立激化の懸念が強まっております。

一方、国内経済は、急拡大した新型コロナ感染第4波と、それを受けた3回目の緊急事態宣言の影響により景気は停滞・悪化したものの、ワクチン接種が進む欧米向けの輸出の拡大持続と国内のワクチン接種率の上昇に伴う個人消費回復の本格化により、景気の持ち直しが再開される見通しとなっております。

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子機器事業につきましてはロジック・ファウンドリー（半導体受託製造）の旺盛な投資に加え、5Gスマートフォンの普及、ゲーム機の新製品投入や巣ごもり需要による大型テレビ販売拡大、そして新型コロナ禍でITを駆使した在宅勤務の増加によるノートパソコンやデータセンター投資にけん引され市場環境は堅調に推移しております。

このような状況の中、電子機器事業につきましては新型コロナの影響や米中対立の懸念があるものの堅調に推移いたしました。また、繊維機器事業につきましては低調に推移いたしました。

損益面につきましては、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めてまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,354百万円（前年同四半期比32.2%増）、営業利益は270百万円（前年同四半期は営業損失182百万円）、経常利益は370百万円（前年同四半期は経常損失155百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は288百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失263百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器事業)

ディスプレイ製造機器では、スマートフォン・タブレット端末向けディスプレイ市場が飽和状態にあり、各社とも中小型液晶・有機ELパネルへの新規投資を控える動きが続いています。一方で、国内メーカー向けのウェアラブル端末ディスプレイ用の貼合わせ装置や、大型有機ELパネル用の偏光板貼付け装置が販売に寄与し、好調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。

半導体製造機器では、新型コロナ禍でのリモートワークの拡大や、自動車の電動化の動きが加速する中、通信用ICチップや、パワーデバイス用チップなど、半導体全般において活況が続いております。スマートフォン、PC向け電子部品、パワー半導体・ディスクリート向け量産設備を国内外のユーザーから受注・販売したことで堅調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。

新素材加工機器では、2021年9月下半期及び2022年9月上半期に売上計上予定となるパワー半導体向けSiC材料切断加工装置の製造に着手しておりますが、新型コロナによる海外向け装置の出荷延期等により低調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は減少いたしました。

その結果、売上高は4,164百万円（前年同四半期比37.3%増）、セグメント利益370百万円（前年同四半期はセグメント損失76百万円）となりました。

(繊維機器事業)

繊維機器事業では、アパレル市場において新型コロナの影響により市場環境の悪化、先行きの不透明感が影響し、設備の更新、増設が先送りされる状況や海外向け装置の出荷延期等により、低調に推移いたしました。また、炭素繊維裁断機市場の冷え込みは継続し、一般産業素材向け裁断機においても低調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は減少いたしました。

その結果、売上高は141百万円（前年同四半期比43.7%減）、セグメント損失7百万円（前年同四半期はセグメント損失21百万円）となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業では「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」の医療機関への販売及びレンタル、試用貸出しを行いました。新型コロナウイルスの影響による医療機関への不急な営業活動の自粛等により医療機器の販売受注活動が滞る中ではありましたが、OEM/ODMによる引合いの増加により前年同四半期を上回る受注を獲得いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。

その結果、売上高は48百万円（前年同四半期比392.4%増）、セグメント損失92百万円（前年同四半期はセグメント損失84百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,707百万円増加し、10,240百万円（前連結会計年度末は8,533百万円）となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,790百万円増加し、7,447百万円（前連結会計年度末は5,656百万円）となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が472百万円の増加、仕掛品が1,250百万円の増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて83百万円減少し、2,793百万円（前連結会計年度末は2,876百万円）となりました。これは、主に有形固定資産が68百万円の減少、無形固定資産が13百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1,469百万円増加し、4,834百万円（前連結会計年度末は3,364百万円）となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,616百万円増加し、4,427百万円（前連結会計年度末は2,810百万円）となりました。これは、主に買掛金が515百万円の増加、電子記録債務が820百万円の増加等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて147百万円減少し、406百万円（前連結会計年度末は554百万円）となりました。これは、主に長期借入金が146百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて238百万円増加し、5,406百万円（前連結会計年度末は5,168百万円）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益288百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組むとともに、当社ビジョンである「信頼されるタカトリ」の構築を目指すべく、事業を遂行していく企業グループであるとの認識のもと、従業員の安全を考慮した勤務形態を進めながら、可能な限り、通常と変わらないサービス提供を行えるよう対応に努めております。

2021年9月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う今後の影響が不透明であることから、現時点ではその影響を合理的に見積もることが困難なため、2020年11月11日に公表いたしました、業績予想を据え置き、修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,379,523	2,376,029
受取手形及び売掛金	1,699,961	2,172,072
電子記録債権	22,653	288,902
製品	48,242	34,641
仕掛品	854,472	2,104,879
原材料及び貯蔵品	326,059	354,851
その他	325,751	115,839
流動資産合計	5,656,665	7,447,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,110,125	1,052,698
土地	781,479	781,479
その他(純額)	167,963	156,649
有形固定資産合計	2,059,568	1,990,827
無形固定資産	50,654	36,995
投資その他の資産		
投資有価証券	428,173	436,729
繰延税金資産	219,756	208,794
その他	118,318	120,056
投資その他の資産合計	766,248	765,579
固定資産合計	2,876,471	2,793,402
資産合計	8,533,136	10,240,619

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	327,599	842,715
電子記録債務	492,637	1,313,496
短期借入金	1,400,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	194,996	194,996
未払法人税等	8,849	84,403
賞与引当金	32,051	62,319
その他	354,643	729,591
流動負債合計	2,810,776	4,427,522
固定負債		
長期借入金	487,504	341,257
資産除去債務	32,058	32,368
その他	34,461	33,092
固定負債合計	554,024	406,717
負債合計	3,364,800	4,834,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,835,906	3,069,814
自己株式	△17,342	△17,396
株主資本合計	5,134,115	5,367,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,311	38,634
為替換算調整勘定	△5,091	△225
その他の包括利益累計額合計	34,220	38,408
純資産合計	5,168,335	5,406,378
負債純資産合計	8,533,136	10,240,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,293,474	4,354,491
売上原価	2,709,807	3,278,836
売上総利益	583,666	1,075,655
販売費及び一般管理費	766,018	805,563
営業利益又は営業損失(△)	△182,351	270,091
営業外収益		
受取利息	3,143	1,997
受取配当金	3,411	6,509
受取賃貸料	5,502	5,453
受取ロイヤリティー	—	8,020
売電収入	8,646	8,640
補助金収入	10,020	71,977
その他	7,347	5,474
営業外収益合計	38,072	108,073
営業外費用		
支払利息	1,781	2,382
減価償却費	4,235	3,748
為替差損	3,784	—
その他	1,269	1,557
営業外費用合計	11,071	7,688
経常利益又は経常損失(△)	△155,351	370,476
特別損失		
関係会社株式売却損	47,390	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	47,390	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△202,741	370,476
法人税、住民税及び事業税	1,737	70,705
法人税等調整額	58,897	11,258
法人税等合計	60,635	81,964
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△263,377	288,511
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△263,377	288,511

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△263,377	288,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,354	△676
為替換算調整勘定	992	4,865
持分法適用会社に対する持分相当額	15,849	—
その他の包括利益合計	24,196	4,188
四半期包括利益	△239,180	292,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△239,180	292,700
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、各地域での感染拡大の収束、経済活動再開に伴い当社グループの需要は徐々に回復していくものと想定しております。

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性については、新型コロナウイルスの影響を考慮して見積り及び判断を行っておりますが、当第3四半期連結会計期間末時点において固定資産の減損の兆候は識別しておらず、また繰延税金資産の回収可能性について前連結会計年度末時点の判断の見直しは不要であると判断しております。

なお、新型コロナウイルスの収束時期は不透明であり、上述の仮定が見込まれなくなった場合には固定資産の減損損失及び繰延税金資産の回収可能性の見直しの可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの 名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	3,082,755	92.2	4,029,986	95.5	4,492,236	92.1
繊維機器事業	250,668	7.5	141,143	3.3	311,824	6.4
医療機器事業	9,861	0.3	48,561	1.2	73,218	1.5
合計	3,343,285	100.0	4,219,691	100.0	4,877,279	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

セグメントの 名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	3,724,684	2,294,144	6,644,855	4,092,830	4,482,912	1,612,761
繊維機器事業	208,961	42,471	200,753	137,018	305,053	77,408
医療機器事業	77,224	67,426	200,410	173,905	95,211	22,056
合計	4,010,870	2,404,041	7,046,019	4,403,754	4,883,178	1,712,226

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

セグメントの 名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	3,032,944	92.1	4,164,786	95.7	4,472,556	92.1
繊維機器事業	250,668	7.6	141,143	3.2	311,824	6.4
医療機器事業	9,861	0.3	48,561	1.1	73,218	1.5
合計	3,293,474	100.0	4,354,491	100.0	4,857,598	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 主要な輸出先及び輸出販売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
アジア	1,081,321	76.1	2,016,123	91.6	1,651,759	80.1
その他の地域	338,803	23.9	185,818	8.4	410,004	19.9
合計	1,420,124 (43.1%)	100.0	2,201,942 (50.6%)	100.0	2,061,764 (42.4%)	100.0